

令和元年度

決算報告書

第16期事業年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

国立大学法人三重大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人三重大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,507	11,705	198	(注1)
施設整備費補助金	1,117	1,110	△ 7	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	909	808	△ 101	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	0	
自己収入	29,347	30,538	1,191	
授業料、入学金及び検定料収入	3,883	3,923	40	(注4)
附属病院収入	25,123	25,927	804	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	341	688	347	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,671	2,557	△ 114	(注7)
引当金取崩	-	25	25	
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
目的積立金取崩	315	231	△ 84	(注8)
計	45,900	47,008	1,108	
支出				
業務費	38,950	39,185	235	
教育研究経費	14,100	14,226	126	(注9)
診療経費	24,850	24,959	109	(注10)
施設整備費	1,151	1,144	△ 7	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	909	808	△ 101	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,671	2,329	△ 342	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,219	2,212	△ 7	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	45,900	45,678	△ 222	
収入-支出	-	1,330	1,330	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階での見積りより、特殊要因経費(退職手当)追加交付等のため、予算金額に比して決算金額が198百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、工事契約締結による契約額減少により、予算金額に比して決算金額が7百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階での見積りより補助金採択件数が少なかったため、予算金額に比して決算金額が101百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、予算段階での見積りより志願者数・入学者数が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働率の向上及び外来患者数の増加等により、予算金額に比して決算金額が804百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として予算段階での見積りより、間接経費や学校財産貸付料の増等により、予算金額に比して決算金額が347百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたものの、予算金額に比して決算金額が114百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、84百万円少額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、(注1)等により、予算金額に比して決算金額が126百万円多額となっています。
- (注10) 診療経費については、附属病院の増収に係る薬品等の診療費用の増大等により、予算金額に比して決算金額が109百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が7百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が101百万円少額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が342百万円少額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、金利の見直しにより、7百万円少額となっています。